インターネット号外

東奥日報

2003年8月7日(木)
東奥日報社
〒030-0180 青森市第二問屋町3-1-89

光星初戦突破

甲子園初日第3試合 七回3長打で逆転

光星初戦を逆転で制す―。第85回全国高校野球選手権大会が7日、阪神甲子園球場で開幕した。本県代表の光星は、この日の第3試合に登場、熊本代表の必由館と1回戦を戦い、七回に3本の長打で一気に逆転、6―3で押し切った。県勢の初戦突破は5年連続、光星は夏の甲子園6勝目。

▽1回戦

光星	1	0	0	0	0	0	5	0	0
必由館	0	2	1	0	0	0	0	0	0

3 6

(光)桑鶴―明戸
(必)松岡、山中―平

後半、見事な立ち直りを見せた光星・桑鶴の力投＝甲子園

2回戦は大会7日目(13日)の第4試合で木更津総合(千葉)と対戦する。

開会式で堂々の行進を披露した光星ナインは、試合でもはつらつとしたプレーで、初回、幸先よく先制した。しかし、その後、必由館の足を絡めた攻めなどで六回まで1―3とリードを許し、攻めても好機に後が続かず苦しい展開。

この重苦しいムードを打ち破ったのが七回、森野の逆転打。四死球で無死満塁の好機に、森野は左翼線に走者一掃の三塁打を放ち4―3と一気に逆転。二死後、明戸、桑鶴の連続二塁打が飛び出し6―3と差を広げた。

守ってはエース桑鶴が五回以降、見事な立ち直りを見せ、必由館打線につけ入るすきを与えなかった。

光星学院への応援メッセージ募集中
Web東奥ホームページ http://www.toonippo.co.jp/